

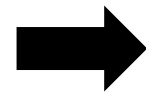
# 開発手順フローチャート(工程図)

**①食器の基礎設計(食器の種類、寸法、容量、模様等)**

例)  
 種類: 楕円皿      寸法: 190×120×30  
 容量: 満水350ml      模様: 全体「そぎ」調

基礎設計図面

基礎設計図面は、楕円皿の寸法、容量、および「そぎ」調の模様を詳細に示しています。図面には、寸法（190×120×30）、容量（満水350ml）、および材料（PP製）が記載されています。



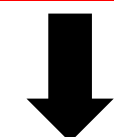
**②陶芸作品の製作**

この工程では、陶芸作品の製作が行われます。粘土を成形し、最終的に完成した陶器の皿が完成します。



**③三次元測定、立体形状の取得**

この工程では、三次元測定機を使用して、陶器の立体形状を取得します。取得された形状データは、点の集合体として表示されます。



**④三次元CADデータ(パソコンにて編集可能なデータ)に変換**

点の集合体

面

変換

この工程では、取得された点の集合体を、面として変換し、三次元CADデータに変換します。このデータはパソコン上で編集可能な形式に変換されます。



**⑤形状修正**

拡大率変更(寸法調整)、  
高台、水切りの追加

この工程では、取得されたCADデータを修正します。拡大率を変更して寸法を調整し、高台や水切りを追加します。



**⑥金型製作、樹脂成形**

この工程では、金型を使用して樹脂成形を行います。最終的に完成した樹脂製の皿が完成します。